

(令和元年 11 月 13 日受付)

伝統芸能について

■内容

11 月 10 日に串本で獅子興（ししおこし）という串本各地の獅子舞を舞わすイベントが行われていましたが、田辺市ではそのようなイベントの開催予定はないのでしょうか。

目良の獅子舞も数年前に担い手がなくなり途絶えてしまいました。少子高齢化が進むこの時代では、増々途絶える一方だと思えます。

弁慶祭より遥か古い歴史を持つのに、田辺市は何も動いていないのではと思います。補助金を出せというのではなく記録をして、もし担い手がなくなり途絶えてしまっても数十年後、数百年後でも復活することができるように記録を兼ねて田辺周辺全ての獅子舞やその他の伝統芸能の発表会を毎年開催してはどうでしょうか。特に文化財等の指定を受けていない伝統芸能を優先的に…。

どうぞよろしくお願いします。

■回答

これまでの取組としては、平成 5 年から田辺市内で指定されている無形民俗文化財、無形文化財の映像事業を実施しており、現在までに 16 の伝統芸能を映像化し、公開しています。また、平成 14 年には、ふるさと伝承芸能実行委員会が主催となり、田辺市文化協会設立十周年記念・田辺市市制六十周年記念「ふるさとの伝承芸能」が実施され、田辺市内の獅子舞などの伝統芸能を継承する 11 団体（指定・未指定を含む）が出演しています。さらに、平成 29 年には、田辺歴史民俗資料館の歴史講座で「田辺祭」「上野の獅子舞」「本宮祭」を取り上げ、上野の獅子舞に実演いただいています。

伝統芸能発表会の開催については、市制の周年記念事業としての開催や、現在毎年開催しているイベントと同時に開催することで、伝統芸能に興味がある方だけではなく、様々な方に見ていただける機会になると考えられ、検討の余地があります。

次に、祭りが衰退した後に復興できる程度の映像記録となりますと、それぞれの動きや音程など、祭りに関することが詳細に分かる継承に特化した記録映像が必要となってきます。伝統芸能発表会等のイベントでの実演映像は、復興できる程度の記録撮影としては難しいものとなります。しかし、無形民俗文化財の保存継承用の映像の必要性は認識しており、今後も指定されているものからではありますが、継続して進めてまいります。

いずれにいたしましても、獅子舞をはじめとした無形民俗文化財を後世に保存、継承していくためには、地域住民や観覧者の理解や取組が不可欠です。行政だけでなく、地域の皆さんとともに取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

【文化振興課 文化財係】